

遠野市監査委員告示第8号
令和3年7月5日

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づく補助金等の監査を実施したので、同条第9項及び遠野市監査基準第23条の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員 佐藤 サヨ子
遠野市監査委員 佐々木 資光

令和3年度補助金等監査結果報告書（令和2年度支出分）

1 監査の基準

本監査は、遠野市監査基準（令和2年遠野市監査委員告示第3号）に準拠して実施した。

2 監査の種類

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項の規定による監査のうち、同条第4項の定期監査

3 監査の実施期日、対象項目、対象課等

令和2年度に支出した補助金、負担金・交付金、貸付金等（以下「補助金等」という。）のうち、事前に提出のあった資料から抽出したものについて、書類についての監査を令和3年5月24日及び26日の2日間並びに担当各課等担当者等と対面しての聞き取りによる監査を下表のとおり4日間、延べ6日間実施した。

期 日	監査対象補助金等の名称（交付先等）及び交付金額	対象課等
5月28日	公益社団法人遠野市シルバー人材センター事業補助金	10,000,000円 健康長寿課
	遠野市医療機関感染症対策支援事業費補助金	1,000,000円 医療連携室
	教育・保育施設副食費助成金（社会福祉法人遠野市保育協会分）	13,135,500円 こども政策課
	アスト重点推進品目栽培拡大支援事業費補助金	4,930,000円 畜産園芸課
5月31日	国土保全森林対策事業費補助金（嵩上げ補助）	21,590,200円 農林課
	飲食業等経営持続化補助金	11,600,000円 商工労働課
	TKプロジェクト実行委員会負担金	3,000,000円 六次産業室
6月2日	遠野さくら祭り実行委員会負担金	520,000円 観光交流課
	日本のふるさと遠野まつり実行委員会負担金	1,000,000円
	道の駅魅力アップ事業費補助金	45,000,000円 三セク・まち活企画室
	一般社団法人遠野ふるさと公社貸付金	20,000,000円
6月4日	特定空家等除却促進事業費補助金（令和2年10月29日交付決定分）	1,000,000円 まちづくり推進課
	遠野市リサイクル促進事業費補助金	2,977,376円 環境課
	コミュニティ活動事業補助金	2,500,000円 地域づくり応援室
	遠野市次世代スポーツ選手全国大会等出場補助金	5,000,000円 生涯学習スポーツ課

4 監査の主な着眼点

- (1) 監査の対象に係る補助金等の事務が適法で合理的かつ効率的に行われているか。
- (2) 監査の対象に係る補助金等の事務が法令に違反していないか、規則や要綱等に基づいて

処理されているか、金員の用途は交付の趣旨に合致しているか。

(3) 監査対象の補助金等が有効性の観点を踏まえているか。

5 監査の実施内容、手順等

- (1) 50万円以上の補助金等の事業268件の概要について担当課等から資料の提出を求め、そのうち15件を監査対象とした。
- (2) 事前に監査対象項目に係る要綱、契約書の写し、支出命令票等の写し、収支決算書、事業実績報告書等の提出を求め、その内容の照合確認をもって書類についての監査を行い、書類について疑義その他不明な事項は補足資料の提出等を求めるとともに事業全般にわたって関係職員から概要等の説明を聴取しながら監査を行った。

6 監査の場所

- (1) 書類監査 本庁舎監査委員事務局事務室
- (2) 対面監査 本庁舎中会議室B・C

7 監査の実施状況

項目	補助金	負担金 交付金 (助成金含む)	貸付金等	合計
交付件数 (各課等の報告件数)	157件	65件	46件	268件
監査件数	10件	4件	1件	15件
監査実施率	6.4%	6.2%	2.2%	5.6%

* 監査実施率は、表示単位未満四捨五入。

8 監査の結果

いずれの補助金等も、必要と認められる事業・団体等に支出され、かつ、交付目的及び交付対象事業の内容も明確であり、事業の有効性が認められた。

なお、対象課等及び補助事業者の事務処理の一部に錯誤や遺漏が散見されるとともに、現状と関係要綱等の規定内容が一部で一致しない場合が認められたが、いずれも軽微なものであることから、その改善等について口頭指導したところである。

今後も、正確性及び合规性の確保による適正な事務の執行に一層努力されたい。

監査対象とした補助金等の個別の監査結果については、次のとおりである。

○公益社団法人遠野市シルバー人材センター事業補助金

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

国と当該法人の所在市町村の補助金を基に運営され、退職後の社会参画を希望する人たちに技術、知識等を伝えることを担っている役割は大きい。

人生100年時代と言われ、高齢社会に構造変化が生じている時代だからこそ、シルバー人材センター事業に注目と期待が集まるものと理解した。

○遠野市医療機関感染症対策支援事業費補助金

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

新型コロナウイルス感染症を防ぐため、市内開業医に対して、院内感染防止対策費として交付されているものであった。

新型コロナウイルス対策の最前線とも言える医療機関に対し、現時点で行える限りの適切な支援であり、一連の事務処理については適正に行われていたと認めた。

○教育・保育施設副食費助成金（社会福祉法人遠野市保育協会分）

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

「子育てするなら遠野」を標榜している本市は、子ども・子育て支援3本柱（条例・プラン・基金）を設けて環境づくりを進めている。

副食費については、国の制度によれば世帯の収入、世帯員の構成等の状況によって負担減免の取扱いが異なるところ、子育て支援の具体的な施策の一つとして、保護者の年収が360万円以上の場合でも本市の予算から直接、保育園等へ副食費相当額を交付して、保護者からの徴収を免除・経済的負担の軽減を通じた子育て支援を図っているものであった。

補助事業者の要望に合わせた事務対応として、毎月の申請・決定・支払の事務手続き・処理が一年を通して繰り返される中で、相互の情報共有・連携が図られており、適切な助成であると認めた。

○アスト重点推進品目栽培拡大支援事業費補助金

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

本市が栽培拡大による生産振興を進めるピーマン、アスパラガス及びニラの生産者団体に対して、当該品目を新たに栽培又は拡大された面積部分に要する種苗及び栽培に必要な資材の購入に要する費用を対象に補助しているものであった。

本事業を通じて、農業人口の6割を超えるとされる高齢者対策面からも当該品目

の拡大につながることを期待する。

なお、要綱で掲げている「アスト加速化事業」については、生産者の年齢構成等の時代の変化に合わせた定義内容の見直し等を検討されたい

○国土保全森林対策事業費補助金（嵩上げ補助）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

林業から所得を得るためには植栽から伐採・売却まで60年余りの歳月を要し、市場価値が高い良材を育てるために下刈、除伐等は必要な作業であることから、林業を支えるための一定の支援は妥当である。また、私有林における皆伐後の再造林や保育の推進は、国土保全をはじめ水源のかん養、地球温暖化防止等の森林が果たす大きな役割を維持するために必要であることを考えあわせると、本市独自に補助率22%相当を引き上げて補助していることの必要性は十分あると認めた。

補助事業制度が一新されるとのことから、新要綱において支援内容がより一層充実されることを期待する。

○飲食業等経営持続化補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

新型コロナ禍によって大きなダメージを受けている市内の飲食業等の事業者にとって、経営持続化の支えであり生活の一助となる事業として重要な役割を果たしたと認めた。

また、短期間に集中した多数の申請を迅速かつ適切に処理した担当課の事務執行について、評価したい。

○TKプロジェクト実行委員会負担金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

新型コロナ禍で、TKプロジェクト実行委員会が「ホップ産地遠野の地域振興」の目的の下に計画し恒例化していたイベント開催にも大きな影響が生じ、集客を伴わない「ホップ産地PR活動」へと事業展開方向の見直しが行われていた。既決の負担金の金額についても年度途中で減額変更して請求及び交付されており、支出は適当であると判断した。

これまでの実行委員会の活動実績は確かな成果として積み上がっていることから、ビールの里構想の新しいステージでの事業拡大を期待する。

○遠野さくら祭り実行委員会負担金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

4月16日に「新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言」の対象が全国に拡大されたことにより、急遽、ほとんどのイベントが中止となった。

しかし、年度当初においては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら規模を縮小しての開催と決定し準備が進められてきたことから、この準備行為としてのポスターデザイン制作、照明塔架設工事等の支払いに要する負担金の請求、交付及び支出は適当であると判断した。

なお、開催中止を余儀なくされたが、担当課においては、さくら祭りのあり方を含めた春季における本市の地域振興、経済振興を改めて見直す機会ともなったとのことから、ポストコロナの新機軸打ち出しに期待する。

○日本のふるさと遠野まつり実行委員会負担金

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

年度当初、実行委員会から例年ベースの負担金請求があったが、6月に開催された臨時実行委員会で事業内容及び金額の見直しがあり、年度途中で減額変更された。その主な用途は、令和4年度に迎える「日本のふるさと遠野まつり50周年」の記念特設サイト開設等であった。

市民の団結、郷土芸能の育成、交流人口の拡大等を進める上での主要行事である遠野まつりについても、新展開を期待する。

○道の駅魅力アップ事業費補助金

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

本施設に期待されている観光・産業の振興及び交流人口の拡大に向けた情報発信、災害時における防災機能の発揮等、多岐にわたる分野をハード面から総合的に拡充するための事業であった。

本事業は、同じく昨年度施工の『道の駅「遠野風の丘」改修工事』と相まって、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも施設のリニューアル効果は生まれている。

今後、本施設を拠点とした「商社機能の発揮」等、運営面の強化充実により、実績拡大の動きが持続的に展開されることを期待する。

○一般社団法人遠野ふるさと公社貸付金

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

（株）遠野ふるさと商社へ事業譲渡されなかった施設の管理運営を引き続き営む本法人にとって解決すべき事業課題は大きい。他施設との差別化が図られる潜在価値の掘り起こし等、市民の注目と関心を集める取組により、何より市民に支持・応援される施設と

して経営内容の改善・安定が図られることを期待する。

○特定空家等除却促進事業費補助金（令和2年10月29日交付決定分）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

全国的に生命・身体に危害を与えかねない管理不全の危険な空家が問題視されている中、昨年度は、該当空家2棟が取壊され、周辺地域の安全が確保された。

個人の所有財産であるため解決が難しい空家問題の中で、景観、衛生、保安、防犯等の各面から放置が不適切な状態にある特定空家が除却できたことは、安心安全なまちづくりを進める上で大いに評価できる。

○遠野市リサイクル促進事業費補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

地球温暖化、海洋や河川におけるマイクロプラスチック問題等、自然環境の保全がクローズアップされている現在、環境問題に対する市民の高い意識、意欲、努力の見える化につながる事業として、事業展開の更なる充実を図りたい。

また、ごみ減量化は、岩手中部広域行政組合で共同処理している本市へ請求される負担金の金額に大いに関係することからも、本事業の果たす役割は大きいと認める。

○コミュニティ活動事業補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

市内の主要な地域自治組織が行うコミュニティ活動用備品の整備では、本補助事業制度が専ら活用されていることから、今後も公平性に留意した制度運用に努められたい。

なお、補助金の原資である「宝くじ助成金」をより一層有効に活用できるよう、おおむね町単位に組織している地域自治組織が保有する備品データの定期的な更新の徹底を図られたい。

○遠野市次世代スポーツ選手全国大会等出場補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

市内の児童生徒が取り組むスポーツ活動で全国大会等へ出場する場合において、定額を補助する制度であるが、懸命に競技に取り組む児童生徒への支援として、本人・保護者等が全国大会、国際大会等へ出場する場合の費用を心配することなく競技力向上を図ることができる環境を整備したものと理解した。

なお、本事業要綱については、個々の競技実績又はコロナ禍に見られた大きな社会的変化等によって例外的な検討事例も起こり得ることから、諸々の事象発生を想定した中で改めて規定内容の確認を行われたい。